

# 令和4年度事業報告書 (2022. 4. 1～2023. 3. 31)

公益財団法人 美術工芸振興佐藤基金

## I. 事業の概要

当法人の目的である、美術工芸を通じて国際間の相互理解の推進及び我が国文化の発展のため、下記の事業を行いました。

石洞美術館では、公益社団法人日本工芸会と共催で、公募展である「第50回記念伝統工芸日本金工展」を開催しました。

また、佐藤千壽初代理事長の陶磁器収集のきっかけとなった高麗青磁などを展示した「朝鮮のやきもの」、当美術館が多くを所蔵する陶磁器である古染付を展示した「古染付展」を開催致しました。

助成事業では、アジア漆の研究会とガラスの研究の2件に助成をしました。

また、38回目となる淡水翁賞では、3名を表彰しました。

## II. 事業毎の概要

### 1. 美術工芸等に関する資料の収集、保存、調査研究、展示及びそれらの資料を活用した事業

#### (1) 石洞美術館

##### ① 展覧会

- ・ 令和4年5月21日より6月12日まで「第50回記念伝統工芸日本金工展」を公益社団法人日本工芸会と共催で開催しました。  
開館日数 20日 来館者数 1,642名 1日平均 82.1名  
6月5日と6月12日には美術史家の樋田豊郎先生や金工作家の北村眞一先生による作品説明会を開催しました。
- ・ 令和4年8月28日より11月27日まで「朝鮮のやきもの」を開催しました。  
開館日数 79日 来館者数 1,181名 1日平均 14.9名
- ・ 令和5年1月15日より3月31日まで「古染付 part1」を開催しました。  
開館日数 64日 来館者数 1,125名 1日平均 17.6名

## ②地域との連携活動

- ・足立区内の4つの文化施設と公益社団法人足立区生涯学習振興公社と連携しオペラ歌手とピアノ奏者のユニットによる「コンサートインミュージアム」を無観客で開催し、制作した映像を公益社団法人足立区生涯学習振興公社がユーチューブで配信しました。

## ③広報活動

- ・全館共通入館割引チケット「ぐるっとパス2022」に参加しました。  
今年度は東京都内及び東京近郊の101カ所の美術館、博物館などが参加しました。

## ④資料の収集

- ・資料の購入

坂倉新兵衛作 2件 「呼友茶盃」、 「坐忘斎御家元御書付茶盃」

坂倉正紘作 1件 「茶盃大道粉引」

以上3件購入しました。

## 2. 美術工芸等の創作活動、調査研究及び普及活動に対する助成及び表彰事業

### (1) 助成事業

- ①松島さくら子「アジア漆の造形と祈り展 展覧会とシンポジウム」
- ②佐々木類「ポーランド日本庭園での展覧会に向けての作品制作：北欧の天気をテーマにしたガラスでの表現の研究」

以上総額 720,000 円

### (2) 表彰事業 淡水翁賞（若手金工作家奨励賞）

今年度で第38回目を迎える淡水翁賞は令和5年1月24日に選考委員会を開催し、最優秀賞に上田剛氏、優秀賞に小嶋崇嗣氏と内田望氏が選ばれました。  
授賞式は令和5年3月17日に行われました。

## 附属明細書について

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書を作成しない。

令和5年4月

公益財団法人美術工芸振興佐藤基金